

はじめに

本市では、環境基本条例に基づく環境基本計画を1994年に全国に先駆けて策定しました。今日の環境問題は、地域の問題から地球規模まで広範囲に及んでおり、時代の変化に応じて変遷する環境問題に対応するため、2011年に全面改定を行い、「環境を守り、自然と調和した活気あふれる 持続可能な市民都市」を目指し、環境行政を総合的かつ計画的に推進しています。



こうした中、本市の強みと特徴である、公害問題を克服していく過程で蓄積された環境技術・産業を活かした取組を、より一層発展、拡大することで、次世代の川崎の活力を生み出すため、本年5月に策定した「グリーンイノベーション推進方針」に基づき、革新的技術の開発・普及に向けた取組や新たな価値の創出、環境配慮行動が市民生活や事業活動に浸透していく取組を推進してまいります。

また、豊かな自然共生社会を目指し、本年3月に策定した「生物多様性かわさき戦略」に基づき、地域特性を踏まえながら生物多様性の保全に向け、環境教育・学習などとも連携した取組を進めてまいります。

この環境基本計画年次報告書は、環境基本計画の進行管理のため、2013年度における市の環境の現状と施策の実施状況を取りまとめたものであり、今後の施策推進に活用してまいります。

本書を御覧いただきまして、本市の環境の現状を御理解いただくとともに、本市の環境施策に対し、市民の皆様から御意見・御要望をいただければ幸いに存じます。

2015年1月

川崎市長

福田紀彦